

東京大空襲80年

—空襲被害写真と空襲体験画を見つめて—

まもなく8月15日になると、戦後80年となります。戦争体験者が少なくなる中で、改めてこれまで体験者が遺してきたもの、残さなかったものに注目して展示を企画します。

東部軍国防写真隊は、東京の主な新聞社や当時のニュース映画製作会社に設けられた組織です。隊員は各会社の写真記者ですが、軍の命令で出動し、空襲被害現場の写真を撮影し、フィルムのまま軍に渡し、現像した写真の一部は各紙の紙面に掲載されました。戦後、空襲被害の写真は貴重な記録としてたびたび報道されましたが、その多くはこのように軍や行政の許可のもと撮影されたものでした。カメラマンの証言は少なく、新聞紙面を主にたどり得られた成果を写真と共にご紹介します。

また、当館は2003年から空襲体験画の収集を始め、翌年企画展で展示すると大きな反響をいただきました。それから20年余り、改めて空襲体験画について考え、美術史の研究者や美術評論家のご協力もいただき、様々な角度から捉えなおす試みを行います。

さらに区内にあった工場の空襲被害状況を各社のご協力のもと一部は貴重な資料と共に紹介するほか、区内の空襲慰霊碑や慰霊祭についての調査研究、今年5月まで開催した企画展から引き続いて、戦争遺跡や被災地図の展示も行います。



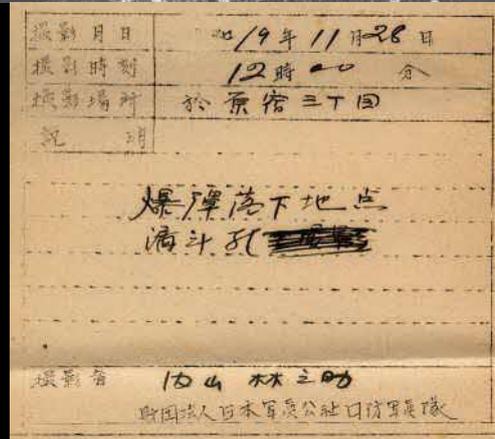
吾孺製鋼所付近の焼け跡
撮影：財団法人日本写真公社
所蔵・提供：東京大空襲・戦災資料センター



■案内図および交通機関



- 都営浅草線「本所吾妻橋」駅下車、徒歩8分
- 東武線「とうきょうスカイツリー」駅下車、徒歩7分
- 都営バス「言問橋」停留所下車、徒歩2分
(草39:金町駅～浅草寿町
業10:新橋～とうきょうスカイツリー駅
上26:亀戸駅～上野公園)
- 都営バス「本所吾妻橋」停留所下車、徒歩8分
(都08:錦糸町駅～日暮里駅
門33:豊海水産埠頭～亀戸駅
上23:平井駅～上野松坂屋)



1944（昭和19）年11月27日の空襲被害状況
撮影：財団法人日本写真公社 国防写真隊 内山林之助
所蔵・提供：東京大空襲・戦災資料センター

すみだ郷土文化資料館

〒131-0033 東京都墨田区向島 2-3-5
TEL 03(5619)7034 / FAX 03(3625)3431